



## 「んが」の福津弁

父：足が痛い…病院行こうかな  
母：急に走ったりするから、足がこわっとるだけやろ



(花見3区) みつぎりゆうたろう 三宅竜太郎ちゃん ※解説は19ページの下

掲載していただきますので、ご活用ください。  
防災行政無線が聞き取りづらいというご意見は、これまでもいただいており、公共施設など屋外に設置しているスピーカーの向きを調整するなど改善に取り組んでいます。ただ、雨や風向きなどの気象状況や地形、建物など、さまざまな条件によっては、放送が聞き取りづらいことがあるかと思えます。防災行政無線で流した直近の放送内容を電話で確認することができるとサービス（☎0180・999・292）がありますので、ご利用ください。

なお、各自治会などが独自で行っている放送については、各自治会にお尋ねください。

**島内選手には夢と希望を与えてほしい**  
市の公式フェイスブックページで、広島東洋カープの島内颯太郎投手が、福津市の後輩たちに向けた「一つの目標に対してブレずに、意識を高く練習に打ち込んでほしいと思います」というメッセージを見ました。けがせず長く活躍して、福津市民に夢と希望を与えてほしいです。

**(G・Sさん)**  
野球だけでなく、どんなことにおいても、継続することの大切さ、目標を持つことの大切さを再認識させてくれる言葉ですね。小学生から高校生までの間、福津で育ち、プロ野球選手という夢をかなえただけでも素晴らしいと思います。これからプロの世界でも活躍し、子どもたちの目標や夢の存在になってくれることを期待しています。

島内選手もそうです。最近、スポーツの世界大会や全国大会、書道などの文化活動のコンクールなどで福津の子どもたちが好成績をおさめています。小学生のバスケットボール県大会の決勝が福津市同士の対決だったなど、本当にその活躍は顕著です。

これからも努力を重ね、島内選手に続くことができるよう、がんばってほしいです。

**絶滅危惧種 クロツラヘラサギを初めて見た**  
津 屋崎干潟でクロツラヘラサギを初めて見ました。これまで、4、5年間津屋崎干潟などに通ってきましたが写真も撮ることができてうれしかったです。（H・Mさん／若木台）

私たち広報担当も見かけたことはあるのですが、いつも写真を撮る前に飛び立ってしまっています。うらやましいです。

**職員の手助けが涙が出るほどうれしかった**  
高齢者医療の窓口で、男性の職員がつえをついている私を椅子を引いて座らせてくれました。他の窓口でも、座った後につえを倒してしまいました。が、親切に拾って

せなまちを連想できませんでした。ただ、特集されている内容とのつながりがよくわからないし、その内容も、福津に関係ある内容と思えませんでした。もっと身近な内容を特集してほしいです。（ふくまつ子の母さん／花見38歳）

14ページの写真は子育て支援センターを始め、なまずの郷、みずがめの郷のほか、ふくとびあでの健診の合間などにも、たくさんの方の皆さんにご協力いただきました。お父さんもお母さんも皆さん協力的で、子どもの笑顔を引き出すためにがんばってくれました。皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

2ページと13ページは同じ写真なのですが、登場した中村さんご家族と地域の皆さんのおかげで、優しく温かな雰囲気の写真が撮ることができました。「幸

せなまちを連想できませんでした」という言葉は、これ以上ない褒め言葉だと思います。本当にうれしいです。

12月の初旬に障害者週間、人権週間があることにちなんで、ひきこもり、児童虐待、障がい者等への強制不妊手術をテーマに特集を組みました。誰もが住みやすい「福が住むまちに」なるためには、地域の協力と支援が不可欠だと考えます。この特集をきっかけに、地域内の一人でも多くの人の理解につながればと思います。そのような意味を込めて、今回は多くの市民の皆さんに特集の趣旨に賛同の下、撮影に協力していただきました。

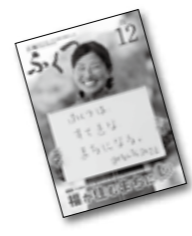
現在、来年度の広報の特集を検討しています。市の政策や事業などを中心に特集を組みますが、もし取り上げてほしいことなどあればお聞かせください。

「好いとお！福津」は皆さんといっしょに作るページです。17ページの市広報秘書課はがきやメールなどで受け付けています。お送りいただいた原稿は、紙面の都合で、加筆、修正、短縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考しますので、掲載できないこともあります。原稿や写真は返却しませんので、ご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。広報紙への感想や日々の暮らしのことなど、皆さんの声をお待ちしています。

お問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113 E-Mail: info@city.fukutsu.jp g.jp

広報12月号の感想 238人の笑顔は圧巻でした

今回の特集はとても良かった。特に238人の笑顔は圧巻でした。



読者の声を中心に、みんなと広報広聴係で作る交流コーナーです。今月の題字は宮司3区の永利優真さんが書いてくれました。



Readers Voice 読者の広場

巻でした。10ページ目のおらが市長も格好良かった。（Worldさん／手光／63歳）

親子の写真が素晴らしい。心がほっこり、温かくなりました。親子の写真が素晴らしい。

もっと身近な内容を特集してほしい  
初めにでてくる親子、家族、地域の人の写真、たくさんの方の笑顔が印象的で「幸

せなまちを連想できませんでした」という言葉は、これ以上ない褒め言葉だと思います。本当にうれしいです。

12月の初旬に障害者週間、人権週間があることにちなんで、ひきこもり、児童虐待、障がい者等への強制不妊手術をテーマに特集を組みました。誰もが住みやすい「福が住むまちに」なるためには、地域の協力と支援が不可欠だと考えます。この特集をきっかけに、地域内の一人でも多くの人の理解につながればと思います。そのような意味を込めて、今回は多くの市民の皆さんに特集の趣旨に賛同の下、撮影に協力していただきました。

現在、来年度の広報の特集を検討しています。市の政策や事業などを中心に特集を組みますが、もし取り上げてほしいことなどあればお聞かせください。

せなまちを連想できませんでした」という言葉は、これ以上ない褒め言葉だと思います。本当にうれしいです。

12月の初旬に障害者週間、人権週間があることにちなんで、ひきこもり、児童虐待、障がい者等への強制不妊手術をテーマに特集を組みました。誰もが住みやすい「福が住むまちに」なるためには、地域の協力と支援が不可欠だと考えます。この特集をきっかけに、地域内の一人でも多くの人の理解につながればと思います。そのような意味を込めて、今回は多くの市民の皆さんに特集の趣旨に賛同の下、撮影に協力していただきました。

現在、来年度の広報の特集を検討しています。市の政策や事業などを中心に特集を組みますが、もし取り上げてほしいことなどあればお聞かせください。

放送が聞こえない。ホームページに視覚化できる？

ア ナウンスが流れることがありますが、難聴のため聞き取りが全くとできません。何か話しているのかわかるのですが、内容がわからないので残ります。アナウンスを流すときは、同時に市のホームページにもその情報を掲載し、視覚化してもらうことはできないでしょうか。（難聴ママさん）

ご不便をお掛けしており、申し訳ありません。ホームページ掲載などでの放送内容の視覚化に関しては、以前から放送する際にはホームページに掲載するようにしていますが、改めて一つの手順として徹底します。また、災害などの緊急情報は、ホームページのほかに、市フェイスブックにも